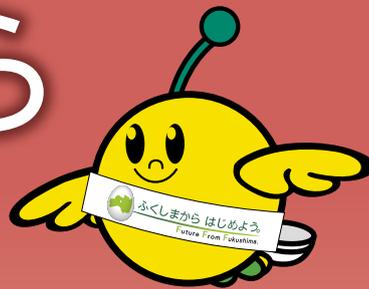


ふくしまからはじめよう。

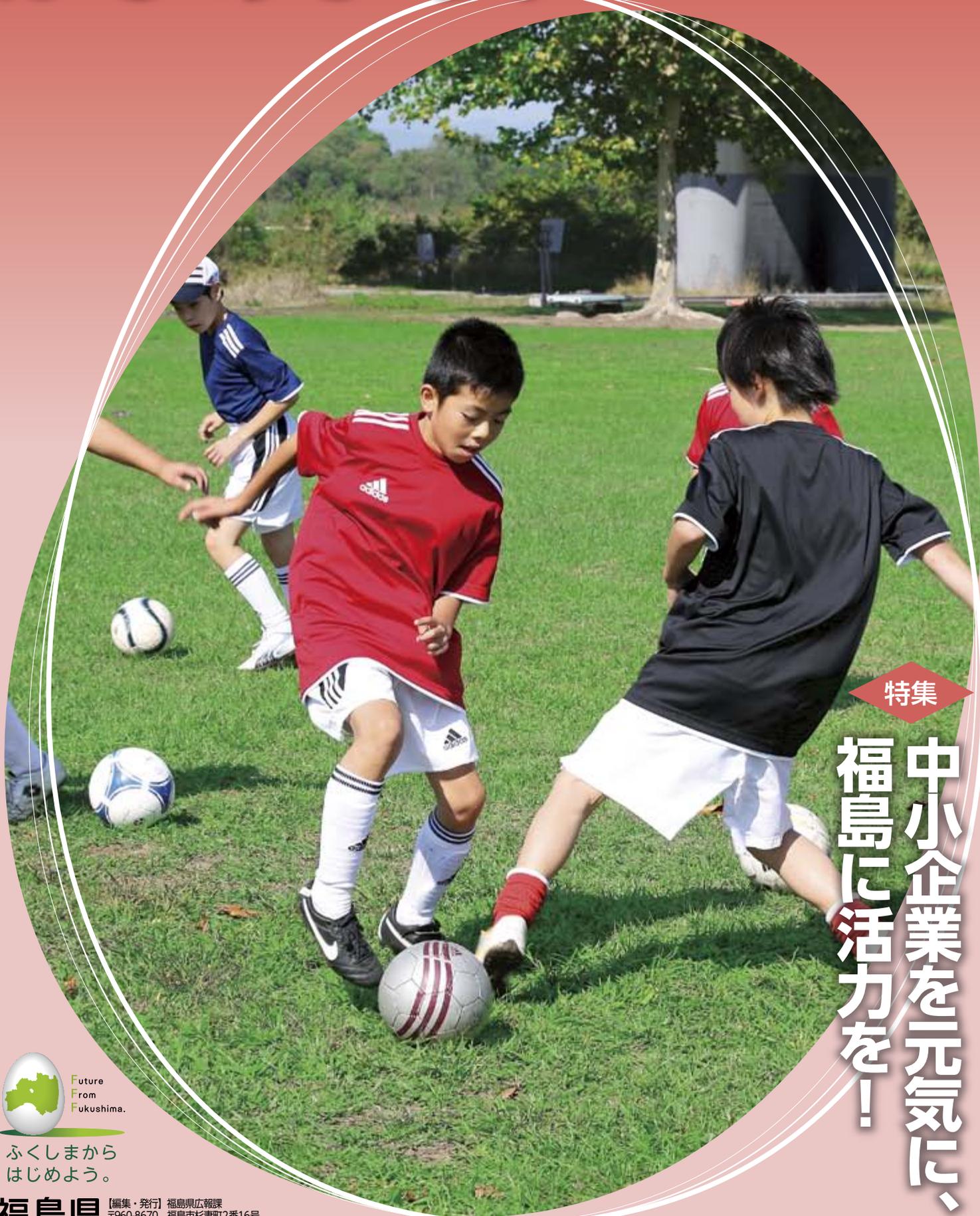


福 | 島 | 県 | 広 | 報 | 誌
ゆめだより

12月号

2012 No.235

年6回(偶数月)
皆さんのもとにお届けします。



特集

中小企業を元気に、
福島に活力を！



ふくしまからはじめよう。

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
☎024(521)7014

もくじ

ふくしまの宝「凧」…………… 2
 特集：中小企業を元気に、福島に
 活力を！…………… 4
 キビタンのわかる県政…………… 7
 ふくしまの食…………… 8
 キビタンの参加イベント、
 写真募集…………… 9
 Facebook でふくしまの魅力と
 今を発信！…………… 9
 ふくしまの今…………… 10
 地域ゆめ情報…………… 12
 県からのお知らせ…………… 14
 施設インフォメーション…………… 15
 ゆめクイズ…………… 16

【表紙】

大熊町のサッカースポーツ少年団「FCフレンズ」(団員25人)は、東日本大震災と原発事故による避難先の会津若松市で、震災翌月の4月から活動を再開し、避難後、全日本少年サッカー大会の県大会にも出場しています。最初は6人で再開しましたが、「いつ帰れるか分からない、でもその時までみんなの絆を途切れさせたくない」という思いのもと、さまざまな支援を受けながら、試合や交流会などに参加して活動を続けています。ここでは「サッカーが楽しい!」という子どもたちの笑顔が広がっています。

ふくしまの宝



しおやぎきとうだい
 1. 塩屋崎灯台と日の出 (いわき市) 問い合わせ観光物産課 ☎ 0246-22-7477



2. 大俵引き (会津坂下町)
おおたわら
 関会津坂下町観光物産協会 ☎ 0242-83-2111



3. 大滝 (広野町)
おおたき
 関広野町建設課産業グループ ☎ 0240-27-4163



4. 猪苗代湖としびき氷 (猪苗代町)
いなわしろこ
 関猪苗代観光協会 ☎ 0242-62-2048
 関猪苗代町商工観光課 ☎ 0242-62-2117

ふくしまの宝

静かにたたずみ、美しく
 澄み切った福島の冬の風景は
 愛すべき宝です。



5. 雪の大内宿 (下郷町)
おおうちじゆく
 関下郷町観光協会 ☎ 0241-69-1144



6. 立子山の凍み豆腐づくり (福島市)
たつこやま
 関立子山凍み豆腐連絡協議会 ☎ 024-597-2321

さえざえと澄み切った
 冬空のもと、震災後2回目
 の新年を迎えます。福島に
 暮らす誰もが、自然の恵み
 に感謝し、時には祈りなが
 ら、美しいふるさとこの明日を
 夢見ています。
 大好きな福島で、大切な
 人とともに幸せな一日一日
 を積み重ねていく。その強い
 思いは、冬の空気にも似て、
 強く凜としています。
 厳しい冬の後は、必ず
 春が訪れる、そんな思いを
 巡らせながら、県内各地の
 冬の凜とした美しい風景に
 会いに行ってみませんか。



7. 木幡の幡まつり (二本松市木幡) 関二本松市東和支所地域振興課 ☎ 0243-66-2490

中小企業等
復興
プロジェクト

中小企業を元気に、 福島に活力を！

復興に向けてがんばっている企業や、商店の皆さんを、県はどんなふうに応援しているんだろう？



復興計画

12の重点プロジェクト



県では復興計画の12の重点プロジェクトを中心に復興に向けて取り組んでいます。

安心して住み、暮らす

- 1 環境回復
- 2 生活再建支援
- 3 県民の心身の健康を守る
- 4 未来を担う子ども・若者育成
(10月号で特集)

がんばりで働く

- 5 農林水産業再生 (8月号で特集)

6 中小企業等復興

- 7 再生可能エネルギー推進
(6月号で特集)
- 8 医療関連産業集積

今回は、この「中小企業等復興プロジェクト」について、紹介します。



まきさきさきさきさきさき、人とつながる

- 9 ふくしま・きずなづくり
- 10 ふくしまの観光交流
- 11 津波被災地復興まちづくり
- 12 県土連携・交流ネットワーク
基盤強化

復興には地域経済の核となる中小企業の活力が欠かせません。県では、地域経済の発展や新たな雇用の確保につながるよう、中小企業の復旧・復興を支援しています。今回は、復興計画12の重点プロジェクトの中の「中小企業等復興プロジェクト」について紹介します。

知事 メッセージ

夢と希望の持てる福島県を 目指して

福島県知事 佐藤雄平



県民の皆さんが豊かで安定した生活を送るため、また、震災からの復興のためにも、産業の振興と働く場の確保は極めて重要です。本県は東北一の製造品出荷額を誇る工業県。それを支えているのは中小企業の皆さんです。しかし、震災と原発事故の影響により県内企業は極めて厳しい経営環境に置かれています。

卓越した技術、オンリーワンのものづくり力は福島が誇るかけがえのない財産。これを生かして、企業の新たな事業展開を呼び起こし、医療機器や再生可能エネルギーなどの時代をリードする産業にも結びつけながら、本県の経済的基盤を揺るぎないものにしてまいりたいと考えています。中小企業の皆さんの元気が、本県復興の原動力となります。

県内企業の活動をしっかりと支え、県民の皆さんが安心して暮らし、子どもたちが将来にわたって夢と希望の持てる、明るく活力に満ちた福島県を築き上げてまいります。

復旧・復興へ向けた取り組み

被災地での再建や、新たに県の復興を応援するための新規立地など、多くの企業・団体が復興に向けて動き出しています。県でも、補助制度などの支援策で企業活動を応援しています。

新規立地

(株)羅羅屋会津若松工場 (会津若松市)

ランドセルの製造・販売。本社東京。事務所・工場は埼玉県川口市。ふくしま産業復興企業立地補助金を活用し、9月新たに会津若松市にて工場竣工。3年間で100人の地元採用を目指している。



代表取締役 あんどう ひろこ 安東 裕子さん

雇用も含め、復興の力に

新しい工場の候補地を探している時に、テレビ番組で「福島でなかなか就職口がない」という状況を見て、会津での立地に興味を持ちました。本社に福島県東京事務所の方が来てくれて、アクセスも含めて会津の立地の良さにほれ込みました。補助金を頂いたのは非常にありがたかったです。会津は古くから伝統工芸などでものづくりの伝統がありますから、そんな土地柄で募集したい人材が集まっています。今後は雇用も含め、ぜひ福島の復興の力になりたいと考えています。工場で展示会や工場見学などを開催して、産業観光の一大拠点として育てられれば、ささやかながら復興に貢献できるのでは、と思っています。

子どもたちに夢や希望を与えられるランドセルをつくりたい。
(会津若松市 20代男性)



会津から笑顔と元気を発信したい！
(喜多方市 30代女性)

▲地元雇用が進み、いきいきと働く従業員のみなさん

県のこんな制度を活用しています

ふくしま産業復興企業立地補助金

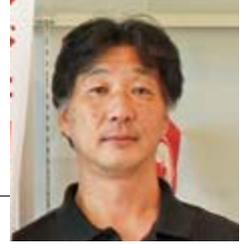
復興の促進のため、県外からの新規立地や県内での新設・増設などを行う企業に対し補助（※募集は終了しました）

指件数 182件 (平成24年10月現在)
☎ 県庁企業立地課 ☎ 024 (521) 7280

復旧再建

松川浦観光振興グループ (相馬市)

相馬松川浦の旅館業・飲食業・小売業を含む27社で構成されるグループ。地場産品を使った「相馬の食のブランド化」を図り、環境と共生した豊かなふるさとを復興など、新たな観光産業づくりに取り組む。



代表 おの よしゆき 小野 芳征さん

元気でやっていると発信したい

補助金は、旅館・飲食店・土産物店の施設の修復や建て替えに使わせてもらいました。震災直後、被害が大きくてもう商売をやめてしまおう、という店があった時期にこの補助金が出たのは大きかったですね。早い時期に直せて、復旧作業の方が泊まる場所、食事をする場所を用意できましたから。そういう下地を作れたからこそ、地域の各店での「松川浦復興チャレンジ丼」の提供にまで取り組めたんです。いまの私たちがやるべきことは、風光明媚な「松川浦」という観光地が「元気でやってるよ」と発信すること。そしてまたいつでも観光地としてやっていける準備を進めていきたいと思っています。

復興におむね頑張ってるね



▲松川浦「復興チャレンジ丼」試食会各メディアが取材に訪れ盛況を呈した

県のこんな制度を活用しています

グループ補助金

(中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業)

中小企業等グループの復旧・復興事業に対して経費の一部を補助

23年度交付決定件数 86グループ 1,071社
24年度交付決定件数 54グループ 792社
(平成24年8月末日現在)

☎ 県庁産業創出課 ☎ 024 (521) 7283

ほかにも次のような事業があります

●福島県中小企業制度資金貸付金

①「ふくしま復興特別資金」②「特定地域中小企業特別資金」により震災や原子力災害で被害を受けている中小企業者の資金繰りを支援

☎ ①県庁経営金融課 ☎ 024 (521)7291
☎ ②県庁産業振興センター ☎ 024 (525) 4019

●ふくしま産業復興雇用支援事業（助成金）

被災者に対して正規雇用などの安定的な雇用機会の創出を図る企業に対し、一定の要件をもとに助成金を支給（※次回募集は平成25年1月以降の予定です）

☎ 県庁雇用労政課 ☎ 024 (521)7290

販路拡大・人材育成の取り組み

復旧・復興の補助や企業誘致の他にも、さらなる飛躍を目指す企業の、販路拡大や人材育成などの活動を支援する事業もあります。



中小企業等
復興
プロジェクト

復興して
世界へ!
ぼくも応援してるよ!

販路 開拓

ビジネスチャンスの拡大を支援



「MEDICA 2012」の出展支援

ドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大級の医療機器見本市。国際色豊かな本展への出品は、製品の海外販路拡大のみならず、世界市場の動向その他の情報収集の場としても最適。県ではブースを設置したりパンフレットを作成するなど、県内企業の出展を支援しています。

林精器製造(株) (須賀川市)

精密金属加工、メッキ表面処理、医療機器製造業。県の補助金を生かして事業の再生を図ると同時に、販路拡大に向け県とジェトロの支援を受けて、昨年に引き続き海外の展示会「MEDICA 2012」に出展する。

震災で工場、設備が甚大な被害を受け、事業の再生を進めるなか、新しい事業領域として開発中の医療機器の海外への販路開拓を試みるため、当社の技術の世界での評価を確認したいとの思いから、出展を決めました。昨年は世界各国の来場者に対して弊社の技術をPRすることができました。今年は、より具体的な用途と利点を売りこんでいく予定です。海外展示会への出展は短期的成果を狙ってのものではなく、連続して参加することで徐々に認知度を上げて行くことがビジネスチャンスをつかむ道だと思えます。今後も機会があれば参加したいと考えています。(代表取締役社長 林 明博さん)

ほかにもこのような事業があります

●海外商談・販売促進活動支援助成事業

海外での商談、見本市等への参加、店舗において販売促進活動を行う会員企業に対して、経費の一部を助成

☎ 福島県貿易促進協議会事務局 (県庁県産品振興戦略課) ☎ 024 (521)7326

人材 育成

企業を支える人材の育成

ふくしま工場長育成道場

復興を支援する事業に加え、県では、県内企業の競争力を高めるための人材育成を支援する事業を行っています。製造現場を統括する工場長に必要な素養を育成する「ふくしま工場長育成道場事業」もその一つです。今年度は、工場復旧の機会に人材育成も図り復興を目指す被災企業も参加しています。



▲「ふくしま工場長育成道場」参加者の実習風景

(株)ワタスイ (須賀川市)

食品の製造・販売・小売業。平成 24 年度「ふくしま工場長育成道場」を受講中。人材育成および会社の新しい生産体制を構築する上でこの機会を大いに活用しようと考えている。

震災で倉庫、冷蔵庫、作業場等が壊れ、復旧のために補助金を頂きましたが、新しい設備の動線のラインをどうするかなどソフト面での新しい取り組みのために、「ふくしま工場長育成道場」を受講しています。受講の内容は社内で常に情報共有し、新しい体制を築く上で大いに役立っています。こういったソフト面のサポートは非常にありがたいと思います。(代表取締役 渡辺 徳之さん)

ほかにもこのような事業があります

●テクノセミナー

企業で働く人が、短期間で技術や知識を取得するための県立テクノアカデミーで行うセミナー

☎ 県庁産業人材育成課 ☎ 024 (521) 7829



さまざまな分野での 支援に取り組む

補助金制度や、販路開拓、そして人材育成について県の取り組みの一部を紹介しましたが、このほかにも、金融支援制度の拡充や、対象企業が税制優遇措置を受けられる「ふくしま産業復興投資促進特区」などの復興特区の指定、工業製品の風評対策として県ハイテクプラザなどでの放射性物質の検査の実施など、さまざまな分野での支援を行っています。活力ある中小企業の復興は、県内経済の発展に不可欠です。県復興計画の重点プロジェクトとして、これからも中小企業等復興に取り組んでいきます。

「うつくしま情報局～ふくしまからはじめよう～」福島テレビ (FTV) で、中小企業の復興への取り組みを紹介いたします。

12月2日 日 9:45～10:00 放送。放送終了後、ウェブからも3週間ご覧いただけます。

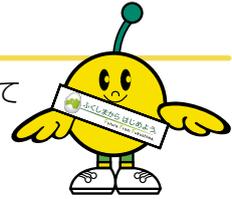
広報ステーション 検索



東日本大震災の発災以来、県内外の多くの皆さんから心温まる寄附金、義援金をいただき、厚く御礼申し上げます。今回は、寄附金と義援金の違いなどについて紹介します。

Q 寄附金と義援金は、どのように違うの？

A 県に寄せられた**寄附金**は、県が行う災害からの復旧・復興事業の財源として活用しています。**義援金**は、県内の被災された人にお届けしています。



Q 寄附金は、どのような事業に使われているの？

- A** ○ 学校の災害復旧
- 原子力災害避難のために設置した高等学校のサテライト校の教育環境整備
- 仮設住宅の除雪、防寒などの環境改善
- 原子力災害による風評被害対策などの事業に活用しています。



サテライト校の整備状況

寄附金の受入実績 (10月末現在) 87億1千万円 (3,070件)

Q 義援金は、どのように被災者に届けられているの？

A 県や国に寄せられた義援金は、市町村を通じて被災者にお届けしています。配分基準は、被害状況や市町村の実態に応じて決められています。主な対象者は、震災により亡くなられた人のご遺族、住家が全壊・半壊した世帯、原発事故により避難区域などに設定された世帯です。

また、一部の留保額は、現在も続けられている住家被害の認定作業の進捗状況しんちよくに応じて、順次配分します。具体的な配分基準については、市町村へお問い合わせ下さい。

● 義援金の受入・配分状況 (10月末現在)



問 寄附金に関して／県庁生活環境総務課 ☎024-521-7669 義援金に関して／県庁社会福祉課 ☎024-521-7322

主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時 土日 祝日：午前8時30分～午後6時	☎ 0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時(祝日を除く) ※毎週水・金曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施 巡回法律相談 県内7方部において弁護士による無料の対面相談を実施(予約制)	☎ 024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅などへの入居及び被災住宅の改修に関すること	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(521)7698
	県内外に避難した人の相談窓口	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)	☎ 024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に関する問い合わせ	県立医科大学 県民健康管理調査事務局 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(549)5130
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日：午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	☎ 0120(899)721 フリーダイヤル ☎ 024(521)7017



しっかりとした食感が楽しめる

福島県オリジナル品種米 天のつぶ

安全・安心な米をお届けします

平成24年産
新米
安全な福島県のお米
放射性物質検査を実施した玄米を使用しています。
検査結果は、ホームページで確認できます。
福島県・ふくしまの恵み安全対策協議会
024-521-8446
http://fukumegu.org/mieru/kome

県産米は、全ての玄米を検査しており、安全性を確認した玄米だけを原料とした精米には、精米袋にキビタンが描かれたラベルを貼り付け、検査していることを分かりやすく伝えています。



▲販売促進キャンペーンで「天のつぶ」をPRするうつくしまライシーホワイト

公募によりデザインを募集。分割した「天」の文字の「人」を強調し、人とお米の「絆」を表しています。

15年の歳月をかけて誕生した「天のつぶ」は、粒がそろい収量も多く、食味がよいのが特徴で、昨年からは販売を開始した福島県オリジナルの米。食べ応えのあるしっかりとした食感が楽しめます。穂が出るときに天に



小坂アグリ株式会社 代表取締役
朽木 勝之さん

向かってまっすぐ伸びる稲の力強さ、そして、天の恵みを受けて豊かに実る一粒一粒のお米をイメージして命名されました。福島県の清らかな水と大自然を生かし、農家のひたむきな情熱によって育まれた福島県オリジナルのお米を、ぜひ食卓で味わって下さい。

誕生したばかりでまだ生産者や販売数も限られていますが、コシヒカリやひとめぼれに代わる品種として、今後生産量が増えていくと期待されています。

生産者の一つである「小坂アグリ株式会社」（国見町）は、平成19年に小坂地区の農業の担い手4人により設立された農業生産法人で、農地集積を図りながら米と大豆を生産しています。農業普及所から勧められて作り始めたという天のつぶですが、昨年は10アールあたり600キログラムほど収穫でき、今年は4.6ヘクタールに増やしました。

代表取締役の朽木勝之さんは、「天

「作りやすく収量上がる天のつぶは、今後コシヒカリに代わって伸びていくのではないかと思います。いい品種ですがまだまだPRが足りないと思いますし、栽培管理を徹底しながらブランド化を図っていくことも必要ではないかと思えます」と、天のつぶに寄せる期待を話してくれました。

のつぶは、病気に強く草丈が短くて倒れにくい、作りやすい米です。粒が大きくまん丸のが特徴で、炊くと歯ごたえがあり冷めてもおいしいです」と、その魅力を話します。

出荷に当たっては全量全袋検査を実施し、全てが基準をクリア。検査結果は、米袋に貼付してあるQRコードを使って携帯サイトで確認することもできるので、安心して食べていただけます。



▲10月に野田首相が検査状況を視察した際、本宮市で天のつぶのおにぎりを試食しました(写真提供:本宮市)



ふくしまから はじめよう。 キビタン参上

福島県の復興シンボルキャラクター「ふくしまから はじめよう。キビタン」が、ふくしまの復興に向けがんばっている皆さんのもとへ、元気と希望をお届けに訪問します。

また、キビタンと一緒に撮った写真(イベントでの一枚、大切な人との一枚など)、キビタンと皆さんの自慢の“キビフォト”を紹介します。キビタンと皆さんの笑顔で、福島を元気にしましょう!!

写真の採用者の中から1名にキビタン賞(キビタングッズ)を差し上げます。

皆さん、奮ってご応募ください。

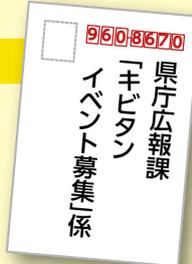
ハガキ・電子メールまたは
ファクスでご応募ください



イベント募集

- ①キビタンに来てほしいイベント名
(地域のまつり、復興関連のイベント、幼稚園、学校のイベントなど)
- ②イベント内容
- ③日時
- ④住所、担当者氏名、電話番号

※特定企業の販売促進などのイベントは、応募できません。
訪問するイベントは選考させていただきます。



電子メールでご応募ください



キビタンの写真コーナー募集

- ①撮影場所、イベント名
- ②撮影日
- ③写真についてのコメント
- ④住所、氏名、年齢、電話番号

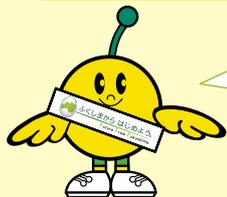
※紙面に掲載していい写真を応募してください
(写っている人の承諾は、応募者が得てください。)



キビタン
グッズ
プレゼント!

ハガキ 〒960-8670 県庁広報課「キビタンイベント募集」係 ファクス 024(521)7901 電子メール yume@pref.fukushima.jp

「県庁TV～ふくしまから はじめよう。～」福島中央テレビ(FCT)で、キビタンが県外で活躍している様子を紹介します。(12月15日(土)11:40～11:55放送)



ふくしまから はじめよう。キビタン

福島県のマスコットキャラクター「キビタン」です。

復興のシンボルとして、みんなを応援し、未来へ羽ばたく「ふくしまから はじめよう。キビタン」として活躍します。頭のアンテナで、ふくしまの「今」と「魅力」を発信していくよ。ボクは幸せを呼ぶ黄色い鳥なので、ボクをなると幸せになれるかも!? ボクを見かけたら、声をかけてね!

Facebookでふくしまの魅力と今を発信! 全国から応援の「いいね!」続々



都道府県の中で「いいね!」の数No.1

6月からスタートした県の公式フェイスブックページ、「ふくしまから はじめよう。」。現在、全国の18,000人以上がファンになっていて、都道府県のフェイスブックの中ではNo.1です。(※キャラクターページを除く。)

ページには、全国の皆さんからの声も寄せられていて、「遠くから応援しています。」「福島に行くよ、応援してるよ。」などの熱いメッセージがたくさん届いています。ぜひ一度、アクセスしてみてください。

寄せられた情報が新たな“ふくしまの魅力”に

フェイスブックは、利用者からも情報を投稿できる仕組みです。熱い気持ちを持った全国の皆さんからは、ふくしまのいちおしの食べ物、お気に入りの観光スポットなど、ふくしまに関する情報が日々寄せられています。本誌10月号のプレゼントで紹介した「桃とトマトのムース」も、その情報を基につくられました。9月から10月にかけては、女性誌「Hanako」とタイアップし、「ふくしまから “いいたび” はじめよう。キャンペーン」と題して、ふくしまの「かわいい、美味しい、気持ちいい」場所やモノを募集。寄せられた情報から“ふくしまのいい旅”ができました。

くわしくは、県のホームページで。

ふくしまから いいたび はじめよう。



あなたの思う“ふくしまの魅力”を

県公式フェイスブックページ「ふくしまから はじめよう。」では、これからもふくしまの魅力を発信していきます。あなたが思う“ふくしまの魅力”もぜひお待ちしております。

県公式フェイスブックページ「ふくしまから はじめよう。」

ふくしまから はじめよう。



▲県公式フェイスブックページ
「ふくしまから はじめよう。」



◀Hanakoの北脇編集長(右)とオリジナルの旅プランを検討。

「フェイスブック」とは?

インターネット上で人と人が交流できるSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の一つで、現時点で世界で10億人以上が利用するといわれる世界最大のSNSです。利用者は、内容を見ていいと思ったときに「いいね!」というボタンを押して共感を表す仕組みになっています。

ふくしまの 今

国産杉を使って仮設住宅を完成させた『奥会津IORI倶楽部』。「建物を造って終わり」ではなく、会津若松市で避難生活をおくる大熊町民に寄り添う活動を続けています。



「まるで家に帰ったよう」
避難者の心を癒す仮設住宅

会津若松市城北小学校北仮設住宅は、コテージのような外観。室内に入ると、ふわっと木の良い香りに包まれました。開放感がある高い天井には屋根裏も設けられています。「木の香りがすると心が落ち着きます。屋根裏に物をしまえるので、すっきり暮らせるのもいいですね。緑側はコミュニケーションスペースとして活用されています」と話すのは仮設住宅の市川一區長

です。

工事の推進母体となった『奥会津IORI倶楽部』は、山林に関わる人や職人など奥会津の風土を知り尽くす個人や企業が集まったグループです。

会長の佐久間源一郎

さんは、「山を守るために森林は適度に伐採する必要があります。倶楽部では、地元の木材を使って家づくりすることで雇用にもつなげたいと考えてきました」と話します。仮設住宅の建



木の香り漂う仮設住宅づくりから
将来のライフスタイルデザインへ

奥会津IORI倶楽部 ● 事務局 (三島町)



奥会津IORI倶楽部

※IORIとは

「木材や自然素材かなど身近なもので作られたシンプルでコンパクトな住居」をイメージ。古来、僧侶や隠者が住んだ簡素な住まい「庵」から名づけられました。



(右) 書家・加藤豊仍さん(写真左)を迎えライフスタイルデザイン支援事業として行われた揮毫会。仮設住宅の市川一區長と集会所に看板を掲げました。

(右上) 揮毫会には多くの住民が集まり、子どもの名前や「復興」などの思いを書いてもらっていました。

(上) 佐久間源一郎会長(右から2番目)、ライフスタイルデザイン支援事業担当の金親丈史さん(左)他、奥会津IORI倶楽部のみなさん。



絆つないで

震災以降、県内外さまざまな場所で避難生活を送る浪江町民の皆さん。町民同士で交流を図り支え合おうと、いわき市では浪江町民有志が「なみえ絆いわき会」を設立。さらに、声かけ訪問「ぐるりんこ隊」を結成し、絆を深めています。

なみえ絆いわき会 [いわき市]

☎090-6783-1474
(事務局)



▲なみえ絆いわき会・事務局長の齋藤さん(中央)とぐるりんこ隊の皆さん



▲町民懇談会

共に支え、語り合おう。 借り上げ住民でつくる交流の輪。

いわき市には、震災により避難生活を余儀なくされている浪江町民が2,200人に及び、その多くは、借り上げ住宅に入居。借り上げ住宅は仮設住宅と違い、町民同志の交流が薄く孤独感を感じている人も多くいます。そこで、町民同士で交流を図ろうと、今年2月にボランティア組織「なみえ絆いわき会」を設立。地域ごとに6方部に分け、講演会や交流会を開催し情報交換を行ってきました。

5月には、女性による「ぐるりんこ隊」を結成。講演会などに来られない人などを対象に、会員宅を月に1回訪問し、体調の様子や悩みなどを聞く声かけ活動が始まりました。故郷の話や何気ない会話が心を癒しています。「訪問当初は警戒していた方も、今では心待ちにしてくれているんですよ。何よりも隊員から皆さんが明るくなったと報告があるのが嬉しい」と事務局長の齋藤敏夫さんは笑顔を見せました。

現在、会員数は約200世帯350人ほど。口コミや隊員による声かけで会員数を増やしています。「今後は、町民が集まり交流できる“場”の確保や、いわき市住民の皆さんとも触れあえる機会を作りたい」と齋藤さんは話します。

長期化する避難生活の中で、町民同士が紡ぐ新たなコミュニティの輪。その広がりと共に、たくさんの笑顔が咲くことが期待されます。



▲故郷や家族の話で笑顔がはじけます



仮設住宅以降の暮らしを 一緒に考える

故郷を離れて仮設住宅に住む人の日々を思い、倶楽部では、

設では、これまでのノウハウを生かしながら、「1日も早く入居してもらいたい」一心で約100人の職人が腕をふるい、会津若松市といわき市に計200棟の『木の仮設』を完成させました。避難所を転々とした後に入居した人々からは「まるで家に帰ったようだ」という声がかげ口々に聞かれたそうです。

「本当の意味で被災者を支えるには何が必要か」を考え続け、今年4月に『被災者のためのライフスタイルデザイン支援事業』を始めました。この事業は、さまざまな方法でコミュニケーションを図りながら、仮設住宅に住む人々と一緒にこれからの暮らしについて考え、長期的な将来像を描こうとするものです。

「本来的に、仮設住宅に住む人の心に寄り添ってほしい。」
帰郷や移住、それぞれの思いを受けとめて奥会津IORI倶楽部の皆さんは、木の香りのように穏やかに、仮設住宅に寄り添ってほしい。金親丈史さん。「さまざまな交流を深めるなかで、奥会津に魅力を感じてもらえればうれしいですね。」



(左)厚さ3cmのスギ板で作った仮設住宅は、土台を強化すれば復興住宅にも利用可能です。

(下)「不便な点はありませんか?」世間話から見えてくる生活課題があります。



相馬市

きらめきぞうま 2012

新町緑地公園で、毎年行われているイルミネーションです。昨年は、震災により開催が危がまれましたが、埼玉県の越谷青年会議所からモミの木の寄贈などを受け、無事開催できました。今年も震災からの復興を願い、公園内は2万個もの電球がきらめきます。ぜひ、幻想的な灯りをお楽しみください。

【期間】12月1日(土)～1月15日(火)



(社)相馬青年会議所事務局

☎0244(36)4411

本宮市

本宮特産「白沢のとろろ芋」



昔から山のウナギといわれ「疲れたときに食べるとよい」と、好まれているとろろ芋が旬を迎えました。とろろ芋を原料とした焼酎やラーメンも人気です。本宮市の肥沃な土と低農薬で作られた栄養価の高い自然食品を、ぜひご賞味ください。贈答用にもぴったり。

本宮市観光物産協会

☎0243(33)1111

飯館村

思いやりまでいラリー ピンポン交流会のご案内

12月9日(日)、県青少年会館体育館で、震災前から行っていた、卓球のラリーがどれだけ続くかを競う「思いやりまでいラリー」ピンポン交流会を開催します。子どもから大人まで誰もが楽しめるゲームで、相手への「思いやり」がポイントです。参加は無料で、参加希望の方は、二人一組または個人でお申し込みください。(11月30日まで)。



前回のまでいラリーピンポン大会の様子

飯館村社会福祉協議会

☎024(566)3622

檜枝岐村

尾瀬檜枝岐の「歳の神」



毎年1月14日に催される「歳の神」。一年間の無病息災、家内安全、五穀豊穡を願う伝統行事で、特に煙に当たると一年間病気が知らずといわれています。午後6時に点火され、凍っていた暗闇を照らすさまは、神秘的です。入場は無料で、甘酒やお神酒が振る舞われます。一度お出でになってください。

尾瀬檜枝岐温泉観光協会

☎0241(75)2462

県内の主なイベント

12月

郡山市 **ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA 2012**

11月30日(金)～2月14日(木)／郡山駅西口駅前広場
 園ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA
 実行委員会事務局 024(921)2610

棚倉町 **八槻都々古別神社霜月大祭**

12月8日(土)～9日(日)／八槻都々古別神社
 園八槻都々古別神社 0247(33)3505

福島市 **ももりんのクリスマスコンサート**

12月22日(土)～25日(火)午前11時5分～午後1時30分／
 こむこむ4階プラネタリウム
 園福島市子どもの夢を育む施設こむこむ 024(524)3131

金山町 **フェアリーランドかねやますキー場オープン**

12月23日(日)／金山町小栗山
 園株式会社社会津かねやま 0241(54)2830

浅川町 **花火の里あさかわ 除夜の花火**

1月1日(祝)／浅川町滝輪郷
 園浅川町商工会 0247(36)2161

新地町 **鹿狼山元旦登山**

1月1日(祝)／鹿狼山
 園新地町観光協会 0244(62)2112

田村市 **常葉だるま市 船引だるま市**

1月5日(土)	1月14日(月)
田村市常葉町常葉	船引町船引
園常葉町商工会	船引町商工会
0247(77)2019	0247(82)4264

柳津町 **七日堂裸詣り**

1月7日(月)／福満虚空藏尊圓蔵寺
 園柳津観光協会 0241(42)2346

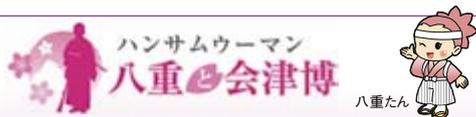
いわき市 **沼ノ内 水祝儀(水かけまつり)**

1月14日(祝)／いわき市平沼ノ内
 園いわき市総合観光案内所 0246(23)0122

会津坂下町 **坂下初市大俵引き**

1月14日(祝)／会津坂下町役場前
 園会津坂下町観光物産協会 0242(83)2111

1月



八重の桜会津博 **大河ドラマ館 平成25年1月12日オープン**

場 所 旧会津図書館(会津若松市城東町2-3)
 開館時間 午前8時30分～午後5時(最終入場午後4時半まで)
 入館料 大人(高校生以上)500円(前売り450円)、小中学生200円
 (前売り180円)、未就学児無料(前売発売 24年12月31日まで)
 園 会津若松市「八重の桜」プロジェクト協議委員会事務局
 0242-23-8228 <http://yae-sakura.jp/>

その他の行事はホームページ



白河市 **小峰シロ「Moe1グランプリ」で
グランプリ**

10月13日(土)・14日(日)、東京都秋葉原にて「地域キャラクター物産観光展 in 秋葉原 Moe1グランプリ」が行われ、白河観光物産協会の観光PRキャラクターである小峰シロが、観光部門とキャラクター部門でグランプリ、お土産部門で準グランプリを獲得しました。観光PRキャラクターとしての今後の活躍にご期待下さい。

財白河観光物産協会

☎0248(22)1147



三島町 **三島町が「日本で最も美しい村」
連合に加盟**

三島町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。この連合は審査により認められた全国43町村6地域が加盟し、シンボルマークを掲げ未来に美しい村を残す活動をしています。三島町は編み組細工をはじめとした生活工芸や特産の会津桐、サイノカミなどの民俗行事が登録資源として認定されました。

三島町地域政策課

☎0241(4)5533



県からのお知らせ

第66回福島県総合美術展覧会

県展の名前で親しまれている県総合美術展覧会が2年ぶりに開催されます。一般公募の入選作品の他、本県出身芸術家の優れた作品が多数展示されます。入場は無料です。



日時 12月7日(金)～16日(日)

午前9時30分(初日は10時)～午後5時(最終日は4時)

※閉館30分前に入場締め切り

場所 県文化センター(福島市春日町)
部門 日本画・洋画・彫刻・工芸美術書

問 県庁文化振興課
☎024(521)7154

福島県展

検索

お願い 飲酒運転を追放しよう!

年末から年始にかけて、飲酒する機会が増えます。飲酒運転は、重大な交通事故を起こしやすく、善良な人々に危険を及ぼす悪質・危険な犯罪です。飲酒運転には、厳罰が科せられます。

自分がしないのはもちろん、周りの人にも絶対に飲酒運転させないようお互いに声を掛け合い、飲酒運転をなくしましょう。

二日酔い状態での運転も飲酒運転になるので絶対にならないようにしましょう。

問 県警察本部交通企画課

☎024(522)2151

案内 基本調査問診票の書き方 説明や相談にお伺いします

県と県立医科大学では、「県民健康管理調査基本調査」問診票に関する出前書き方説明会と出前書き方相談会を実施内容や会場などのご要望に応じて開催します。

開催は、土日祝祭日を除く午前9時から午後4時の間で、1回当たり10名、15名まで対応が可能です。

詳しくは、県立医科大学県民健康管理センターまでお問い合わせください。

問 県立医科大学県民健康管理センター

☎024(547)1786

あなたの健康、見守ります。

検索

募集 毎日の買い物で ふくしまを応援!!

カード利用額の一部が風評の払拭・県産品の振興に役立てられる、クレジット機能付きの会員カード「Fukurum(フクラム)カード」の会員を募集しています。応募方法はホームページをご覧ください。

年会費 無料



※支援金の発生に伴う、カード会員への負担はありません。
<http://www.nissenren-sendai.or.jp/fukurum>

問 「Fukurumカード」推進協議会

☎024(573)0907

Fukurumカード

検索

募集 農業を学びたい 君たちを募集します

県農業総合センター農業短期大学校では、平成25年度本科一般入校試験の後期募集を行います。併せて研究科生も募集します。

募集人員 3学科(農産学科・園芸学科・畜産学科)合わせて10名程度

出願期間 平成25年1月8日(火)～1月18日(金)当日消印有効

出願方法 郵送(簡易書留)・直接持参

試験日 平成25年2月6日(水)

募集要項・入校案内

ホームページ、または各農林事務所農業振興普及部、農業普及所で入手できます。郵送を希望する人は、本校農業部教務管理へお問い合わせください。

問 県農業総合センター農業短期大学 農学部 教務管理

☎0248(42)4113

福島県 農業短期大学校

検索

スポーツ祭東京2013

第68回国民体育大会 冬季大会

スピードスケート競技会開催!

復興支援という観点から東京都が郡山市でスピードスケート競技会を開催します。



ゆりーと

開催記念イベント

日時 / 1月27日(日)11:00～16:00

場所 / 磐梯熱海アイスアリーナ

プロスケーターによるエキシビジョンやスケート教室の開催、アイスリンクを使ったアトラクション等のイベントを実施します。

スピードスケート競技会開始式

日時 / 1月27日(日)16:45～

場所 / 郡山ユラックス熱海 多目的ホール

郡山市の伝統芸能やアトラクションを実施します。

スピードスケート競技会

日時 / 1月28日(月)～31日(木)

場所 / 郡山スケート場

スポーツの力で夢と元気をお届けします。



開催記念イベント(エキシビジョン) 一般観覧者大募集!!

募集期間 12月1日(土)～12月21日(金)

募集人員 約500名(応募多数の場合は抽選)

申込方法 スポーツ祭東京2013実行委員会ホームページか、応募用紙(☑より入手)に必要事項を記入して郵送。

お問い合わせ 東京都スポーツ振興局競技課 ☎03-5388-2884 <http://www.sports-sai-tokyo2013.jp/>

施設インフォメーション

福島県文化財センター白河館 まほろん 白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

まほろん

指定文化財展 「ふくしまの重要文化財X 福島市和台遺跡」

国の史跡に指定されている福島市和台遺跡から出土した考古資料を中心に展示します。縄文時代中期を中心として栄えた和台遺跡のムラ（集落）の移り変わりに焦点を当て、周辺地域からの出土資料を含めて紹介します。

●開催期間：12月22日(土)～平成25年2月17日(日) ●入館料：無料 ●休館日：毎週月曜日(ただし12月24日(休)、1月14日(祝)は開館)、12月25日(火)、12月28日(金)～1月4日(金)、1月15日(火)



人体文土器



空から見た和台遺跡

福島県立博物館移動展

南相馬市原町区牛来字出口 194 ☎ 0244(23)6421

ジュラシック相馬

一化石が語る恐竜時代の相馬地域一

福島県の太平洋岸に分布する相馬地域の中生代の地層や化石を広く紹介し、恐竜時代のふくしまの生き物たちや当時の環境を復元します。夏の企画展「恐竜時代のふくしま」のダイジェスト版です。



「エイガー ティプラリウス(エビ)」
ジュラ紀後期 ドイツ

●会場：南相馬市博物館 ●開催期間：12月24日(休)まで
●入館料：一般300円、高校生200円、小・中学生は100円
●休館日：毎週月曜日(ただし12月24日(休)は開館)

福島県立美術館

福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

コレクション展Ⅲ 新寄託作品公開 横山大観と竹内栖鳳、日本画に見る神話と歴史、抽象彫刻

●開催期間：10月3日(水)～12月24日(休)
●観覧料：一般・大学生260(210)円 高校生以下無料 ※()は20名以上の団体料金
●休館日：毎週月曜日(ただし12月24日(休)は開館)



「横山大観『雷霆』
1912年 寄託作品」

ビッグパレットふくしま 郡山市南二丁目

☎ 024(947)8010

ビッグパレットふくしま

12月21日(金)～23日(日)	2013 ふくしまニッフェア
1月13日(日)	平成25年 郡山市成人のつどい
1月12日(土)～14日(祝)	第24回ひな人形・五月人形大御奉仕割引会
1月26日(土)～27日(日)	ふくしまうまいものフェスタ2013*

福島県文化センター 福島市春日町

☎ 024(534)9191

福島県文化センター

12月1日(土)～2日(日)	第6回うつくしま・ふくしま全国洋舞コンクール
12月8日(土)～9日(日)	福島県アンサンブルコンテスト県北支部大会
12月28日(金)	NHK にほんごであそぼう
1月6日(日)	週末よしもと 福島初笑いまつり*
1月20日(日)	ゴスペラーズ坂ツアー 2012～2013*
1月26日(土)	第35回 福島自衛隊音楽の夕べ

*有料のイベント

コラッセふくしま 福島市三河南町

☎ 024(525)4098

コラッセふくしま

12月3日(月)	コラッセふくしま イルミネーション点灯式
12月15日(土)	コラッセふくしま クリスマスイベント
12月22日(土)～24日(休)	第2回 寫樂ゆきうさぎ写真展
1月4日(金)～9日(水)	ルワンダ写真展

環境水族館 アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町 50 ☎ 0246(73)2525

アクアマリン クリスマス

閉館時間を延長して夜7時まで営業。幻想的な大水槽前でのコンサートなど、水族館ならではのクリスマスをお楽しみください。



アクアマリンふくしま ライトアップ

●開催期間：12月22日(土)～24日(休)
●入館料：一般・大学生1,600円、高校生・小・中学生800円、未就学児無料
●年中無休



広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧になれます▶

広報ステーション

◎県政新聞広報

県からのお知らせ

【福島民報・福島民友】
毎月第2・第4土曜日の翌日

◎県政テレビ番組

うつくしま情報局

～ふくしまから はじめよう。～

【福島テレビ (FTV)】
毎週日曜日 9:45～10:00

ウィークリー県政トピックス

【福島放送 (KFB)】
毎週日曜日 17:25～17:30

県政 TV

～ふくしまから はじめよう。～

【福島中央テレビ (FCT)】
毎週土曜日 11:40～11:55

ウィークリー県政ナビ

【テレビユー福島 (TUF)】
毎週日曜日 11:40～11:45

◎県政ラジオ番組

知事室からこんにちは

ふくしまから はじめよう。ふるさとだより

【ラジオ福島 (rfc)】
毎月最終火曜 12:30～12:45

ふくしま EVENING BREAK

【ふくしま FM】
毎週月～金曜 17:30～17:35

復興の願いを込めて——

福島県オリジナル「天のつぶ」が当たる!

問題

今月号の特集(4~6ページ)に、県の復興シンボルキャラクター「ふくしまからはじめよう。キビタン」のイラストはいくつありますか?

○個

○の中に数字を入れてください。

- 応募方法 / はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「天のつぶ」を差し上げます。
- 締め切り / 12月31日(月)当日消印有効
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

広報ステーション

検索

電子メール yume@pref.fukushima.jp

ファクス 024(521)7901



30名様に
プレゼント

天のつぶ(精米5kg)

9608670

県庁
広報課
「ゆめクイズ」係

クイズの答え

○個

- ・興味を持った記事
 - ・地元で誇りにしている宝
 - ・本誌へのご意見、ご感想
 - ・県政への疑問、質問など
- 住所 氏名 年齢
職業 電話番号

※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、商品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★12月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(10月号)の正解は「ふるさとの祭り2012」でした。

次回(No.236)は2月1日号です。